















■町民1人当たりの歳出内訳

議会費 8,508円 	総務費 54,867円 企業立地に関する 基本協定締結式 	民生費 127,974円 	衛生費 61,328円 	労働費 164円 	農林水産業費 24,725円 	商工費 5,192円 
土木費 47,655円 	消防費 26,214円 	教育費 69,398円 	災害復旧費 5,445円 	公債費 45,344円 	諸支出金 50,525円 	合計 527,339円 

■健全化判断比率および資金不足比率

健全化判断比率、資金不足比率とも基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。

〈健全化判断比率〉

(単位：%)

項目	説明	小野町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する割合	—	11.25~15.0	20.0
連結実質赤字比率	全会計の実質的な赤字の標準財政規模に対する割合	—	16.25~20.0	30.0
実質公債費比率	一般会計などが実質的に負担する公債費の標準財政規模に対する割合	8.6	25.0	35.0
将来負担比率	地方債の残高をはじめ、一般会計などが将来負担すべき実質的な負担の標準財政規模に対する割合	—	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため「—」で表示しています。

※将来負担比率は、充当可能財源が将来負担額を上回るため「—」で表示しています。

〈資金不足比〉

(単位：%)

項目	説明	小野町	経営健全化基準
水道事業会計	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する割合	—	20.0
浄化槽整備推進事業特別会計		—	20.0

※資金不足額がないため「—」で表示しています。

■平成26年度特別会計決算

(単位：千円)

会計	収入済額	支出済額	差引
国民健康保険特別会計	1,406,291	1,350,141	56,150
後期高齢者医療特別会計	106,680	105,808	872
除染対策事業特別会計	528,319	528,101	218
介護保険特別会計	1,201,275	1,175,964	25,311
介護保険サービス事業特別会計	3,199	3,199	0
浄化槽整備推進事業特別会計	70,673	62,524	8,149
文化・体育振興基金特別会計	3,753	3,531	222
水道事業会計(収益的収入)	166,675	154,650	12,025
水道事業会計(資本的収入)	77,721	172,613	▲94,892

☆不足する額は、当年度分消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金および当年度分損益勘定留保資金(※1)で補ってんでいます。

※1 収益的収支の費用のうち、現金の支出を必要としない費用のことをいいます。小野町水道事業においては、減価償却費がこれに当たります。